



Nippon Computer Dynamics Co.,Ltd.

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

第57期 中間株主通信 2021 4.1 ▶ 2021 9.30

57th

Change & Challenge for Smile

代表取締役社長 下條 治



株主の皆様、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。代表取締役社長の下條治です。

ここに当社第57期中間期（2021年4月1日から9月30日まで）の業績についてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という）のまん延により、緊急事態宣言の発出など社会経済活動が一部制限され、厳しい状況が続きました。2021年9月末をもって緊急事態宣言等は解除されましたが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループの属する情報サービス業界におきましては、労働環境の変化や中長期の成長を見据え、DX（デジタルトランスフォー

メーション）推進の継続や、テレワークの効率化、BCP対応、セキュリティ強化などに積極的に取り組む企業の増加傾向が見られました。当社グループはこのような企業のニーズを汲み取り、自動化・省力化ツールの導入や、旧来の基幹システムの刷新需要などに注力しました。また、グループ子会社やビジネスパートナーの活用を一層推進するとともに、高付加価値業務にシフトすることで、収益力とサービス品質の向上を図り、既存の大手顧客および保険会社を中心とした取引基盤の拡大に取り組んでおります。

自転車駐輪場業界におきましては、緊急事態宣言が長期化した影響により駐輪場利用状況の回復ペースは鈍いものの、前年比では改善しました。今後も駐輪場利用は一定程度増加することが期待されますが、

引き続き動向を注視する必要があります。このような事業環境において、当社グループは外部環境の変化や需要変動に柔軟に対応できる収益基盤の確立のため、事業の構造改革を迅速に推進しております。

当第2四半期連結累計期間のIT関連事業（システム開発事業、サポート&サービス事業）においては、引き続き既存顧客の新領域の案件獲得が伸長するとともに、サポート&サービス事業における利益率の改善が見られたことにより、前年同期比で大幅な増収増益となりました。

一方、パーキングシステム事業におきましては、機器販売の低迷が続いているものの、駐輪場利用状況は改善し、前年同期比で増収増益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、9,248百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益411百万円（前年同期は営業損失102百万円）、経常利益419百万円（前年同期は経常損失1百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益269百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円）となりました。

当期中間配当につきましては、業績等を総合的に勘案し、一株当たり7円といたしました。

中期経営計画「Vision 2023」の折り返しを迎え、目標達成に向けさらに邁進していく所存でございます。引き続きご支援の程よろしくお願いたします。

Vision 2023

Medium-term
management plan

2023年3月期の財務目標

グループ連結

売上高 **200 億円**

営業利益 **12 億円**

営業利益率 **6.0 %**

ROE **15 %以上**

基本方針

ストックとフローの連携強化による
更なる付加価値の向上

バリュー

▶NCDバリューの追求と更なる進化

ドメイン

▶NCDの特色を生かした
事業ドメインの一層の拡大

体制

▶事業体制の強化

▶グループフォーメーションの最適化

詳細は下記よりご確認いただけます。

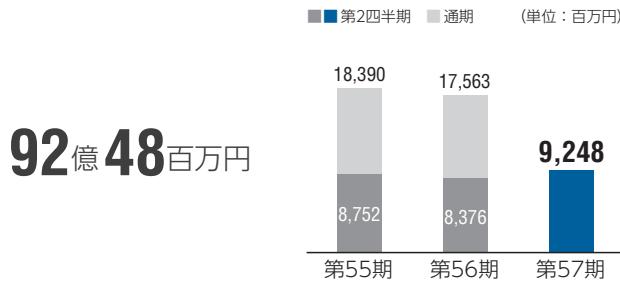
<https://www.ncd.co.jp/ir/management/plan/>



財務ハイライト Financial Highlights

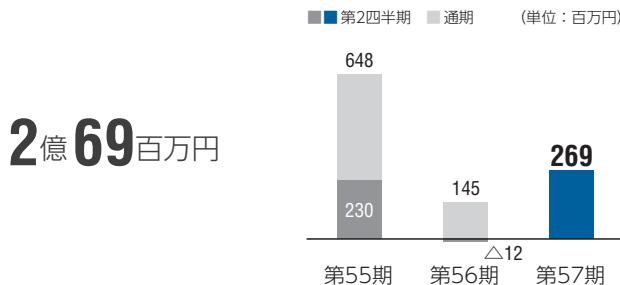
連結業績

売上高



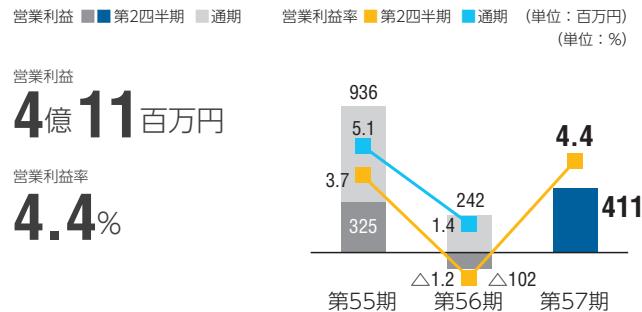
92億48百万円

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)



2億69百万円

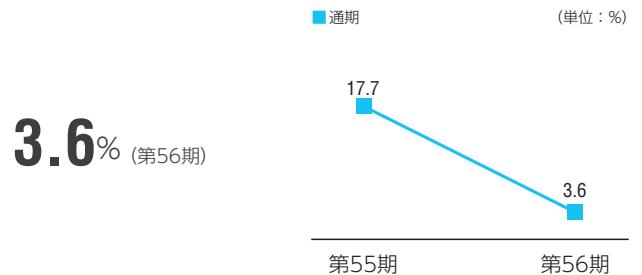
営業利益又は営業損失(△)／営業利益率



4億11百万円

営業利益率
4.4%

ROE(自己資本利益率)



3.6% (第56期)

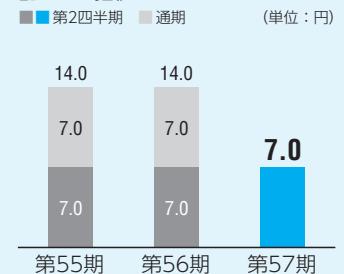
株主還元

企業体質の強化と積極的な事業展開に備えて内部留保に努めるとともに、配当性向や配当利回りなどを総合的に判断し、安定的な配当を維持することを基本方針として実践しております。今後におきましても本基本方針のもと、適切な利益還元を実施してまいります。

また、株主の皆様の日頃のご愛顧にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に当社の事業へのご理解とご支援をいただくことと、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、**株主優待制度**も取り入れております。

→ 裏表紙 株主優待制度のご案内

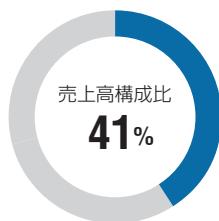
配当金の推移



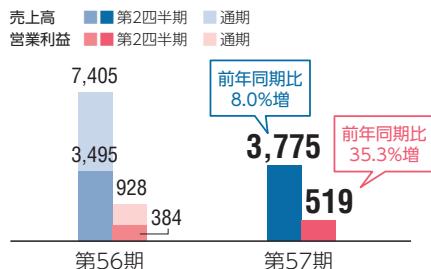
主要セグメント概況 Segment Overview

システム開発事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー、NCD China^(※1)



売上高／営業利益 (単位：百万円)



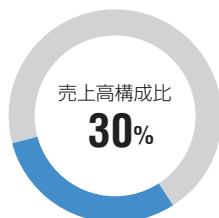
主要なサービス

- ・システムコンサルティング
- ・アプリケーションシステムの設計・構築
- ・システムインフラの設計・構築
- ・パッケージ導入・構築支援

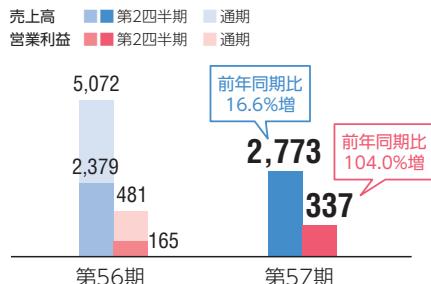
生損保の既存顧客を中心に、新領域の案件獲得が堅調に推移しました。また、顧客企業の業務効率化やコスト削減意識の高まりを背景に、会計シェアードサービスなどの営業活動を積極的に行ったことにより、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、業務効率化の推進などにより、前年同期比で大幅な増益となりました。

サポート&サービス事業

NCD、ゼクシス、NCDテクノロジー



売上高／営業利益 (単位：百万円)



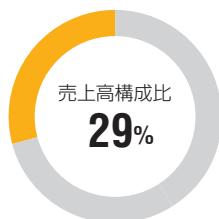
主要なサービス

- ・アウトソーシングサービス
- ・ヘルプデスクサービス
- ・テクニカルサポートサービス
- ・システムインフラの保守・運用

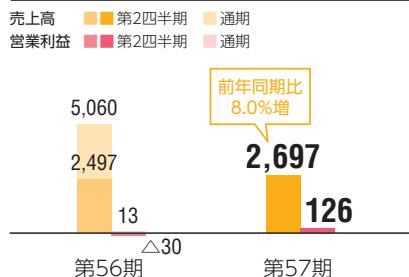
前年度に受注した大手企業における情報システム部門業務のアウトソーシング案件が本格稼働し順調に進行していることや、既存顧客へのサービス領域拡大などが奏功し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、前年同期に獲得した新規案件が安定稼働したことなどにより、前年同期比で大幅な増益となりました。

パーキングシステム事業

NCD、NCDプロス、NCDエスト^(※2)



売上高／営業利益 (単位：百万円)



主要なサービス

- ・駐輪場の設営・運営・管理受託
- ・駐輪場管理システムの販売及び運営
- ・自転車関連の総合コンサルティング
- ・自転車関連商品の販売

機器販売については、感染症の影響により需要が弱含み、新規案件の受注に苦戦しましたが、通勤・通学客の鉄道利用状況の改善による駐輪場利用料収入の増加や、前年度に受注した江戸川区の指定管理者事業などの大型案件が寄与し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、増収の効果に加え、グループ子会社を活用した外部委託業務の内製化などにより、前年同期比で増益となりました。

(※1) NCD China は「天津恩馳徳徳信息系统開発有限公司」の英語表記です。

(※2) 矢野産業株式会社が2021年9月1日付で「NCDエスト株式会社」へ商号を変更しました。

NCDグループのサステナビリティ

NCDグループでは、社会に新しい価値を提供し続け、お客様やステークホルダーの皆様から信頼される企業であることを目指しています。その実現のため、以下の基本方針をサステナビリティ活動の指針とし、サステナビリティへの取り組みをより一層推進してまいります。

サステナビリティ基本方針

私たちNCDグループは、「ユニークなソフトウェア技術により、明るい未来に貢献する。」という経営理念のもと、多様なステークホルダーと適切に協働しながら、事業を通じて社会課題の解決に努め、企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献します。

NCDグループのマテリアリティ(重要課題)について

NCDグループは、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指すうえで、中長期的な視点で優先的に取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を以下のとおり特定しております。

マテリアリティは、当社の経営理念を踏まえたものであり、NCDグループの経営戦略の策定などにおいて重要な要素と位置付けるとともに、関連するSDGsへの貢献を推進してまいります。

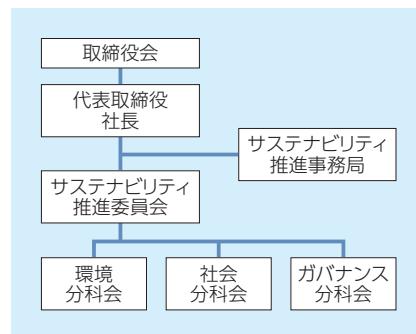
マテリアリティ		関連する主なSDGs	
E	① カーボンニュートラル 実現への貢献	<ul style="list-style-type: none">● DXの推進● 高付加価値な 駐輪サービスの提供	
	② 安心・安全で豊かな 社会づくり	<ul style="list-style-type: none">● レジリエントな 社会インフラの提供● 地方創生への貢献	
S	③ 多様な人材が 活躍できる社会へ	<ul style="list-style-type: none">● ダイバーシティ& インクルージョンの推進● 働きやすさと働きがいの両立 ● 次世代リーダーの育成	
	④ 社会からの信頼を	<ul style="list-style-type: none">● ガバナンス体制の高度化● 適切なリスクマネジメント● コンプライアンスの推進	

推進体制

当社では、サステナビリティ基本方針に基づきサステナビリティ推進活動をグループ横断的に実施するため、サステナビリティ推進委員会を設置しています。本委員会においてサステナビリティに関する重要方針や推進活動計画についての審議などを行い、取締役会へ報告します。

サステナビリティ推進委員会は、当社社長を委員長とし、常勤取締役、各部門長、その他委員長が任命する者を構成員として年2回以上開催します。各部門や子会社と連携して活動を推進するとともに、進捗や成果を共有し、さらなる改善や新たな取り組みにつなげていきます。

サステナビリティ推進委員会体制図



PICK UP

健康優良企業「金の認定」を取得

2021年9月27日、健康企業宣言東京推進協議会が運営する健康優良企業の認定制度「健康企業宣言」において、健康優良企業「金の認定」を取得しました。当社は2018年4月に健康企業宣言を行い、継続して健康経営に取り組んでまいりました。2019年6月には「銀の認定」を取得しており、今回はそれに続くものです。

金の認定では、健康・重症化予防、健康管理・安全衛生活動、メンタルヘルス対策及び過重労働防止などへの取り組み状況が審査の対象となり、当社が加入している東京都情報サービス産業健康保険組合で金の認定を取得しているのは、加入事業所数1,608社のうち13社のみとなります。(2021年10月1日時点)

今後も、もっと明るく元気な会社を目指して、これまで取り組んできた心と身体の健康の保持・増進をさらに前進させ、すべての従業員が心身ともに健康で、その能力を十分に発揮することができるよう、健康経営を推進してまいります。



当社グループのESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みについて皆様に詳しく知っていただくため、2021年10月4日に「サステナビリティ」ページをリニューアルしました。<https://www.ncd.co.jp/sustainability/>





IT関連事業

長崎オフィス移転

業務拡大に伴い、開設10周年の節目を迎えた長崎オフィスを長崎市江戸町にある「江戸町センタービル」へ移転し、2021年7月より業務を開始しました。長崎でのさらなるビジネスの拡大、BCP拠点としての機能性の向上、また、就業者数の増加に合わせた職場環境の改善が目的です。今後も情報サービスに関わる課題解決に取り組み、地域の活性化に貢献してまいります。



▲長崎の観光名所である出島・稲佐山が一望できる休憩ルーム



パーキング
システム事業

駐輪場管理台数 60万台を突破

2021年4月1日、駐輪場管理台数が646,749台（前年比123,180台増）、箇所数が2,085箇所（前年比177箇所増）となり、駐輪場管理台数60万台を突破しました。関東エリアでは江戸川区、関西エリアではパートナー企業とともに大阪市・神戸市などにおいて事業を拡大し、プレゼンスの向上に寄与するものであります。今後も高付加価値な駐輪サービスの提供により、カーボンニュートラルの実現、安心・安全で豊かな社会づくりに取り組んでまいります。



その他

東京証券取引所 新市場区分における「スタンダード市場」を選択

2021年7月9日付で東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、「スタンダード市場」の上場維持基準に適合していることを確認いたしました。この結果を踏まえ、2022年4月4日に予定されている東京証券取引所の新市場区分への移行において「スタンダード市場」を選択し、申請しました。

矢野産業株式会社が「NCDエスト株式会社」へ商号を変更

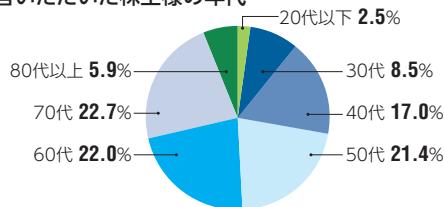
当社連結子会社である矢野産業株式会社について、当社グループ会社の一員として同社の位置づけを明確化し、認知度の向上を図るとともに、駐輪場プランナーとして西日本トップ企業を目指すという意味（West+最上級-est）を込めて、2021年9月1日付で「NCDエスト株式会社」へ商号を変更しました。

株主アンケート集計結果のご報告 Shareholder questionnaire

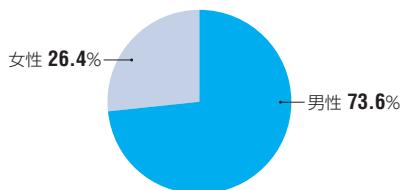
2021年6月に行いました「株主様アンケート」におきまして、多くの株主様よりご回答をお寄せいただきました。アンケートのご協力につきまして御礼を申し上げますとともに、主な集計結果をご報告させていただきます。頂戴した株主様の貴重なご意見・ご要望は、今後の経営やIR活動の参考にさせていただきます。

調査対象 …… 全株主3,777名
 調査方法 …… 決議通知に同封（2021年6月28日発送）
 調査期間 …… 2021年6月28日～7月28日
 ご回答数 …… 1,008名

●ご回答いただいた株主様の年代

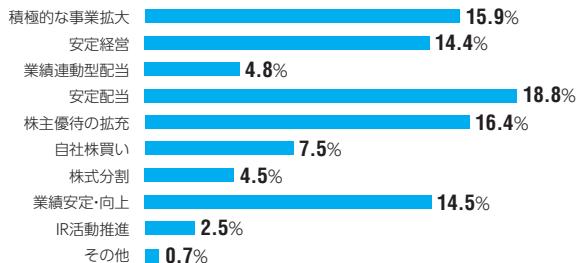


●ご回答いただいた株主様の性別

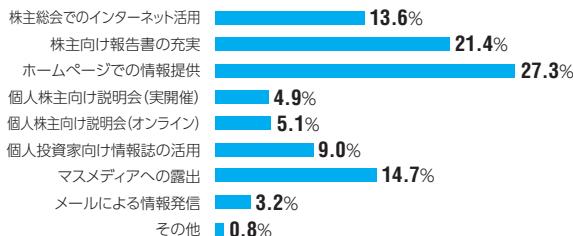


アンケート集計結果（一部）

Q 当社に期待すること(3つまで)



Q 当社の今後のIR活動で充実を希望すること(複数可)



株主様からのご意見・ご要望のご紹介

株価／IRについて

このコロナ禍であっても安定的な配当を受けられるのは投資家にとってメリットが大きい。(50代女性)



IR活動をもっと積極的にいき、会社の知名度を上げてほしい。(70代男性)



事業内容について

放置自転車削減に貢献されていることを知り、うれしく思います。世の中に価値を提供し、さらなる発展をされますことを心よりお祈りしております。(60代男性)



サステナビリティについて

サステナビリティや人材開発に多くの紙面を割いていたことに好感がもてた。今後もSDGsや脱炭素等を意識した情報発信を続けて欲しい。(50代男性)



経営理念

「NCDは、ユニークなソフトウェア技術により、明るい未来に貢献する。」

- NCDは、顧客第一に徹し、最適なシステムとサービスの提供により、共存共栄をはかる。
- NCDは、社員の個性を尊重し、その資質を発揮させることにより、あたたかな企業文化を確立する。
- NCDは、社会に対し、時代の変化を先取りすることにより、調和のある世界に貢献する。

ビジョン ～NCDが目指す姿～

私たちNCDは1967年の設立以来、常にお客様の満足を第一に考え、最適なシステムときめ細かなサービスの提供に努めてきました。お客様のビジネス戦略を深く理解することに始まり、問題の発見から将来構想まで、コンサルティング、システム構築、運用管理を網羅する一貫したサービスを提供できる体制を整えています。

更に、私たちが長年培ってきたIT技術は、様々な分野での活用へと発展しています。その一例として、私たちは駐輪場の新たな事業モデルを生み出し、今や、街の環境問題を解決するソリューションとして、社会に定着しつつあります。

私たちは引き続き、様々な分野でのIT活用の可能性を探究することにより、お客様、更には社会から常に必要とされる、価値ある企業であり続けることを目指します。

NCDグループのご紹介

～今回はNCDエスト株式会社を紹介いたします～

NCDエスト株式会社は、2019年4月にNCDグループの一員となり、自転車・バイク駐輪場設備の総合プランナーとして福岡県を中心にパーキングシステム事業を行っております。九州エリアにおける事業の拡大や、同社製の搬送コンベアをはじめとした駐輪場設備の導入など、今後も連携によるシナジーをさらに高め、NCDグループ全体の成長に貢献してまいります。

詳細はこちらからご確認ください。

▶ NCDエストについて
<https://www.ncdyano.jp/>



▶ NCDグループについて
<https://www.ncd.co.jp/ir/3min/>



会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 Nippon Computer Dynamics Co., Ltd.
設立年月日	1967 (昭和42) 年3月16日
資本金	438,750,000円
事業所	本社 (東京都品川区) お台場オフィス (東京都江東区) 江東サービスセンター (東京都江東区) 福岡オフィス (福岡市博多区) 長崎オフィス (長崎県長崎市)
従業員の状況	NCDグループ 1,026名 NCD 656名 (注) 上記人数には、契約社員、パートタイマー、嘱託契約の従業員及び派遣社員を含みません。

連結子会社 (2021年9月30日現在)

社名	設立	所在地	資本金	当社出資比率
株式会社ゼクシス	1969年 3月	大阪市中央区	96百万円	100%
NCDテクノロジー株式会社	2000年11月	東京都品川区	40百万円	100%
天津恩馳徳信息系统開発有限公司 (NCD China)	2005年 4月	中国天津市	600千米ドル	100%
NCDプロス株式会社	2018年 3月	東京都目黒区	30百万円	67%
NCDエスト株式会社	1978年 4月	福岡市博多区	10百万円	100%

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役社長	下條 治	社外取締役 (監査等委員)	中山 かつお
取締役専務執行役員	高木 洋	社外取締役 (監査等委員)	奥野 滋
取締役専務執行役員	加藤 裕介	社外取締役 (監査等委員)	圓角 健一
社外取締役	宮田 晴雄	執行役員	田辺 信幸
社外取締役	安岡 正晃	執行役員	中根 純一
取締役 (常勤監査等委員)	小林 勇記	執行役員	刈辺 勉
		執行役員	安藤 登志夫

株式の状況 (2021年9月30日現在)

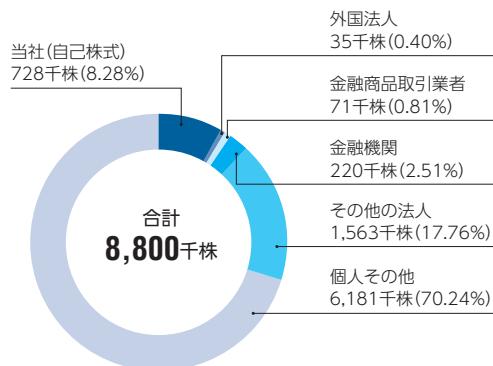
発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式の総数	8,071,068株 (自己株式728,932株を除く)
単元株式数	100株
株主数	3,739名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
光通信株式会社	762	9.44
株式会社北斗	430	5.33
NCD社員持株会	427	5.29
小黒 節子	280	3.47
下條 治	217	2.70
下條 芳	195	2.42
寺内 吉孝	180	2.23
山田 正勝	172	2.13
吉岡 裕之	158	1.96
久本 正幸	117	1.46

(注) 1. 当社は自己株式 (728,932株) を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式数構成比



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ 市場 (証券コード4783)
公告の方法	電子公告により行います。
公告掲載URL	https://www.ncd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、以下の株主優待制度を実施しております。

対象となる株主様

毎年9月30日現在、当社株式1,000株以上保有いただいている株主様
贈呈時期

本冊子に同封して贈呈

株主優待制度の内容（贈呈品：クオカード）

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
1,000株以上 3,000株未満	2,000円分	3,000円分
3,000株以上 5,000株未満	3,000円分	5,000円分
5,000株以上	5,000円分	7,000円分

継続保有期間条件について

- ・年1回毎年9月末を基準日とし、同日付の当社株主名簿の記録により確認できる株主様を対象といたします。
- ・継続保有判定は、**半期ごと（毎年3月末および9月末）の当社株主名簿に、「同一の株主番号」で連続して7回以上記録された株主様**を、継続保有「3年以上」の対象といたします。
- ・「同一の株主番号」記録の連続性が中断された場合には、継続要件を満たさないものとして取り扱います。例えば、保有されていた当社株式の全部を一旦売却した後に、3月または9月の権利付き最終確定日までに株式を買い戻した場合などが該当します。

当社のウェブサイトでも財務データ、
企業情報などを開示しております。
ぜひご覧ください。

<https://www.ncd.co.jp>

NCD IR

検索

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田四丁目32番1号

TEL 03-5437-1021

<https://www.ncd.co.jp/>



本報告書に関するお問合せ先 総務部 TEL 03-5437-1021